

| | |
|----------|-----------------------|
| 自治体・協議会名 | 安城市総合交通会議 |
| 評価対象事業 | 地域内フィーダー系統 調査事業(計画策定) |

二次評価結果

評価できる取組

- ・タクシーの情報を乗場やバスマップに掲載し利便性向上を図ったことを評価します。
- ・利用者の安全を守るため待合環境の整備を実施したことを評価します。
- ・岡崎市と連携し、大河ドラマに関連した観光施設と公共交通をPRするチラシを作成・配布したことを評価します。

期待する取組

- ・地域での懇談会など各種機会をとらえて、バスロケーションシステムや乗方や乗換案内、各種活用ガイドの見方など公共交通利用を想定した取組を進められることを期待します。
- ・近隣自治体、運行事業者、地域とともに市域を超えた移動の利便性向上について連携されることを期待します。
- ・大河ドラマに関連した観光需要を活かして公共交通の利用につながる取組を期待します。特に、岡崎・安城線の輸送量が補助要件基準の15人に逼迫しつつあることから、現状の把握に努められるとともに、関係する岡崎市と連携して利用促進を図るよう期待します。
- ・運転手不足について、できる限り早く対策を実施することを期待します。
- ・地域公共交通計画の策定にあたって様々な分野との連携、運転手不足、地域の交通を考える会の立ち上げを目指すなど、具体の施策に移す際には関係者と十分なコミュニケーションをとられるよう期待します。
- ・地域公共交通計画策定に向けた調査結果から公共交通に関する不満度が地区により差があることに留意し、その分析・課題について地域、事業者などの関係者とコミュニケーションを行い、移動目的・交通モードの役割・活用方法などの検討が十分された取組みが実施されることを期待します。